

新入生歓迎！海外文化を英語で学ぶ 4/26（木）国際村 MCV で「Spring Festival」開催 ～MCV クルーズで世界のポートを巡る旅～

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、学内でさまざまな外国語や文化を楽しみながら学べる国際村“Musashi Communication Village（MCV）”において、異文化体験イベント“Spring Festival”を開催します。6年目の開催となる今回は「MCV クルーズの旅」をテーマとし、オーストラリア、フィリピン、ニューイングランド、ハワイの4ブースを開設。参加者は各ポート（港）にちなんだアクティビティなどを体験。楽しく異文化に触れることができ、例年人気のイベントとなっています。

「Spring Festival」開催概要

- 日時：2018年4月26日（木）16：20～17：50
- 場所：武蔵大学 1号館 3階 MCV
- 対象者：武蔵大学・大学院在学生
- 内容：国・地域ごとのブースで、その国・地域ならではの文化・食事・言語・アート・国民性などに触れ、異文化を体験する（全ブース英語にて進行）

MCV スタッフからのメッセージ

新入生や、外国語に対してハードルが高いと感じている学生が、イベントを通してさまざまな国の言語、文化や歴史に興味を持ち、MCV を利用するきっかけになればと思っています。

昨年の「Spring Festival」のようす

昨年は「トラベル」をテーマとし、オーストラリア／フィリピン／アイルランド／イタリア／ドイツの5ブースを開設。参加者は“搭乗券”を受け取り、各国のブースをまわる中で、ローカルスナックを味わいながら、英語で進行される簡単な言語レッスンやトリビアクイズへの挑戦、文化やアートなどのプレゼンテーションを体験しました。



Musashi Communication Village（MCV）とは？

MCV は英語をはじめとした外国語や異文化を学ぶための「国際村」です。無料の英会話レッスン（グループまたは1対1）をはじめ、外国人スタッフや学生スタッフとのフリートーク、外国語学習カウンセリングなどの語学学習の自律学習支援を行っています。また、外国の習慣や文化を体験できる、異文化体験イベントのほか、英会話をしながら料理をつくるクッキングクラスなどのアクティビティも豊富に開催しています。

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武蔵大学 広報室 担当：山野・齋藤（やまの・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp